

会報神奈川

令和8年5月20日発行

発行責任者 神奈川県神道青年会会長 小泉匡史

〒236-0051 横浜市金沢区富岡東4-5-41 電話 (045)776-3838

会長挨拶



神奈川県神道青年会

第三十代会長

小泉 匡史

謹んで聖寿の萬歳と皇室の弥栄をお祈り申し上げます。また、神宮におかれましても諸祭恙なく斎行されておりますこと、誠に慶賀に存じます。

神奈川県神道青年会会長として二年目を迎えるにあたり、その責任の重さを再認識すると共に、日頃より当会を支えてくださる会員各位に深く感謝申し上げます。併せて、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

昨年度を顧みますと、会員一人ひとりが主体的な意識を持ち、自ら考え行動し、諸事業を推進する姿が随所に見られました。その積極的な取り組みにより、当会の結束と力強さを改めて実感する意義深い一年となりました。

また先般、神道青年全国協議会令和七年定例表彰におきまして、「神奈川県神道青年会ホームページリニューアル」が広報部門優秀賞を受賞いたしました。当会にとって十一年ぶりの神青協定例表彰受賞は、先輩諸賢より受け継がれ

た歩みと、現役会員の努力の結晶であり、誠に感慨深く存じます。

本年度も学び続ける姿勢を大切にし、様々な場を得た知見を当会へ還元するとともに、会員各位の力を結集し、当会の更なる発展に向け歩みを進めてまいります。誰もが参加でき、志を形にできる場を築き、「ここが自分の居場所である」と感じられる仲間を一人でも多く増やしていきたいと願っております。

結びに、神奈川県社庁をはじめ、県内宮司各位、先輩諸賢、関係諸団体並びに平素よりご厚情を賜っております皆様に衷心より御礼申し上げますとともに、皆様のますますのご隆昌を祈念申し上げます、ご挨拶といたします。



当会のホームページリニューアル事業が神青協令和七年定例表彰「優秀広報賞」を受賞



創立七十五周年記念事業

顔写真入り神職手帳

会員 新井 賢

創立五十五周年より五年毎に続けている「顔写真入り神職手帳」作成を本記念事業でも継承し内容を更新しました。

「顔写真入り神職手帳」は、会員相互だけではなく県内神職の交流や諸会合等の場面で広く活用され、以前より好評頂いているものです。

今回も前回同様様に神奈川県内神職一人一人の顔写真と社殿の写真カラーで大きく掲載し、写真と情報を発行時点(令和七年八月)で最新の内容に更新し、発行することが出来ました。

今回の発行にあたりご協力を賜りました県内神職の皆様には感謝申し上げます。また、各支部担当の会員には社務ご多用の中、支部毎に写真と詳細情報を取り纏めて頂き洵に有難う御座いました。

原稿の確認作業では、会員全員にメールリングでデー



タを共有し、多くの会員に隔々まで確認していただき、神奈川県神道青年会全員で行った事業であったと感じ、重ねて御礼申し上げます。

結びに、今回の「顔写真入り神職手帳」の表紙は当会会章に合わせて緑色を採用しました。会員相互の研修と親睦を図り、神社神道の興隆に寄与することを目的とする当会において、「顔写真入り神職手帳」がその一つのツールとして役立てれば幸いです。

神奈川県神社庁御用達

株式会社 クレックス

代表取締役 近藤 榮人

〒194-0014 東京都町田市高ヶ坂六―十八―一〇番地
電話 〇四二七二八―八九四(代)
FAX 〇四二七三―三五六三



- 〈営業品目〉
- 交通安全御守護
 - 開運招福鈴
 - 文鎮 金盃
 - 各種記念品類
 - 胸像・レリーフ・鋳造類

鈴木徽章工芸株式会社

〒113-0032 東京都文京区弥生2-12-1
TEL 03-3814-1811 FAX 03-3818-8332
E-mail: info@suzuki-kisho.co.jp
http://www.suzuki-kisho.co.jp

誠実奉仕、信用第一

本社 本庁 御用達
神学院大学 推薦店
明治神宮 指定店

瀬戸装束店

- 〔営業品目〕
- 神職御装束●神楽装束●神社調度
 - 祭器具のすべて●神前結婚式場神殿設備

〒164-0001 東京都中野区中野3丁目10番5号
電話 03-3381-4927 FAX 03-3381-4927

誠実と真心で奉仕する

御守・授与品・参拝記念品奉製

天然石厄除開運腕輪守・天然石みくじ

御一報次第カタログ御送り致します。

グリーン産商株式会社

〒547-0033 大阪市平野区平野西4丁目8番29号
TEL (06) 6702-6009(代表) FAX 0120-34-2996

活動報告

十月

稲刈り・親睦バーベキュー

企画部 部長 伊藤 政好



令和七年十月十一日、伊勢原市の御神田において、当会主催の稲作体験事業「稲刈り」を行いました。本事業は日本古来から伝わる稲作を一年を通じて大人から子供まで一緒に体験し、感謝の心を育む事を目的としています。稲刈り当日は、前夜からの雨の影響により稲全体が濡れていた為、田んぼ四枚のうち二枚を手刈りと機械での作

業となりましたが、國學院大學学生・当会会員とその子供達を合わせた二十七名のご参加を賜り、耕作者の小泉様ご指導のもと賑々しく作業を進める事が出来ました。また、残りの田んぼ二枚につきましては後日、稲全体が乾いてから後日耕作者の方々に稲刈りをしていただきましたこと、感謝申し上げます。



最初は雨の影響でぬかるんだ土に足をとられたり、水分を含んだ稲穂に苦戦する様子でしたが、徐々にコツを掴むと慣れた手付きで稲を刈る姿が多く見られました。その後、御神田に組み立てた竿に稲穂を掛けて干し、稲刈りは無事に終了となりました。親稲刈り後には新たな試みとして、親



睦部主催による「親睦バーベキュー」を行いました。学生を含め、参加者は子供から大人まで楽しみながら交流を深め、稲刈りと共に和やかな親睦バーベキューを行う事が出来ました。

時局対策研修会
靖國神社正式参拝

総務局員 牧野 裕希

令和七年十月二十日、靖國神社において時局対策研修会を開催いたしました。

当日は遊就館見学の後正式参拝を行い、当会が行ってきた県内慰霊碑忠魂碑調査事業についてもご奉告申し上げました。

その後、靖國神社権禰宜兼教学研究員の野田安平先生より、御社殿や招魂斎庭をはじめとする境内各所をご案内いただきました。また、靖國偕行文庫



→かつて招魂式が行われた「招魂斎庭」の様子

を特別に拝観させていただき、歴史や
教学に関する資料を元に、貴重な御講
義を賜りました。

神奈川県は全国でも唯一、県内の戦
没者を祀る護国神社を持たない地域で
ありますが、同様に完成前に終戦を迎
えた熊本県の熊本護国神社は戦後に地
元有志によって創建されており、神奈
川県でも護国神社の創建が実現できる
のではないかとというお話を伺いまし
た。

戦後八十年を迎え、当時を知る先輩
方が少なくなり各地の遺族会も高齢化
が進んでいます。当時の状況や歴史を
知り、平和を祈り、感謝と慰霊の気持
ちを次世代へつなぐためにも、本研修
会は大変貴重な機会となりました。



温泉慰労懇親会

親睦部 副部長 岡村 恵太

令和七年十月二十六日、小田原お堀
端「万葉の湯」において、来賓に石原・
守屋両顧問をお迎えし総勢三十一名に
て温泉慰労懇親会を開催致しました。

今回の秋の親睦事業は、令和七年九
月二十九日に無事開催された当会「創
立七十五周年記念大会」の疲れを温泉
にて癒すと共に、ふだん地理的な観点
から行事への参加が難しい会員の皆様
にも気軽にご参加いただけるよう、県
西地域での開催を企画致しました。

当日は温泉による慰労のみならず、



事前に希望者を募り合計三チームにて
余興を披露。社務多忙の中、各チーム
とも趣向を凝らして練り上げた渾身の
芸を如何なく発揮し、会場は大いに盛
り上がりを見せました。

厳粛なる審査の結果、演者の個性を
活かし技芸を巧みに用いた〈チーム箱
根〉、熟練のパフォーマンスを惜しみ
なく全力で出し尽くした〈チーム五十
九年〉を僅差で上回り、抜群のチーム
ワークが輝いた〈ダンスユニット〉
気持ちだけは一流です」を披露した
〈チーム寒川〉が優勝。優勝チームに
は記念品が授与されました。

今回の懇親会を通じ、改めて神奈川



県神道青年会の結東力と底力を実感す
ると共に、今後の活動に一層の期待を
抱く機会となりました。

十一月

神青協一都七県協議会 懇親フットサル大会

親睦部 副部長 神原 悠太

令和七年十一月十八日、国立代々木
競技場フットサルコートにて一都七県
協議会懇親フットサル大会が開催され
ました。年々参加チームが増える中、
当会にとつて本大会は二連覇が掛かっ
た負けられない戦いでした。おかげさ
まで本年も優勝する事ができ、無事二



連覇を達成する事が出来ました。大会を通して会員の絆がより強固なものになると共に、他都県の皆様と更なる親睦・交流を深める、とても有意義な時間となりました。

来年は三連覇を目標に取り組みますので、応援の程宜しくお願い致します。



→大会MVPに輝いた榎原悠太選手！

雅楽講習会（入門編）

教養部 副部長 **阿部 友哉**

令和七年十一月十九日、神奈川県神社庁に於いて、教養研修「雅楽講習会（入門編）」を十八名の会員、県内神職参加のもと、昨年が続いて開催しました。

本講習会は、雅楽に興味のある会員

が新たに雅楽を始めるきっかけとなること、また経験のある会員が講師となり、会員相互で教え合うことを目的としております。

まず、講習会冒頭では雅楽に関する短い映像を流し、各楽器の特徴や構成などの基礎を学び、その後各管に分かれて稽古を行いました。課題曲は前回に引き続き、皆が聴き馴染みのある「平調 越殿楽」としました。講師・受講生ともに会員同士であるため互いの距離が近く、初心者も積極的に質問をする様子が多く見受けられました。

講習後半には、全員で合奏稽古を行いました。初めは音も出せなかった初心者が一生懸命に演奏し、経験者は初心者をリードするように演奏して、管



別稽古の成果を披露しました。はじめに雅楽器に触れる者、奉務神社での伶人奉仕を控えて練習中の者、はじめて初心者に教える機会となった経験者など、夫々にとって貴重な学びを得る機会となり、たいへん実りある研修となりました。



**神奈川県仏教青年会
創立五十周年記念大会**

渉外部 部長 **宮本公太郎**

令和七年十一月二十五日、横浜ベイホテル東急にて開催された神奈川県仏教青年会創立五十周年記念大会に、小峰監事とともに参加致しました。

当日は、記念講演・式典・法要・祝

賀会の順に大会が進み、最初の記念講演は壇上に四人の仏教関係者が並び、座談会形式で行われました。神道と仏教という異なる信仰形態の中でも、共通の考えや課題があることを学ばせていただきました。

式典においては、初めに法要が執り行われました。普段触れることのない空間ではありましたが、その場の皆様が一心にお経をあげている姿は圧巻で、式典への意識がさらに高まっていくように感じました。その後、大本山総持寺の貫主、石附周行様をはじめとする著名な僧侶の皆様のお話を拝聴し、話し方・内容ともに学びの多い時間となりました。

祝賀会においては、神奈川県仏教青



年会会長と実行委員長が各円卓へご挨拶に回っている姿が印象的で、このような姿勢は做うべき点のひとつであると感じました。

普段接する機会の少ない仏教関係者との時間は、神職として多くの学びを得る機会となりました。今回の貴重な経験を契機に、今後も他団体との窓口として更に関係を深めてまいります。



十二月

神宮御敷地清掃奉仕

教養部 副部長 感見 健哉

令和七年十二月二日、神宮において執り行われた神宮御敷地清掃奉仕に参加いたしました。今回の奉仕は、令和十五年に「遷御」の儀が執り行われる「第六十三回神宮式年遷宮」に向けた大切な歩みの一つです。当日は、皇大神宮の新たな御正殿が造営される御敷地を清めるべく、全国各地から志を同じくする神職約九十名が参集いたしました。

清掃に先立ち、御神楽の奉納と御垣内参拝が行われました。神聖な空気の中で身を律したのち、遷宮諸祭に関するご高説を拝聴いたしました。長い歴史の中で途絶えることなく繰り返し返されてきた遷宮の意義について、改めて認識を深める貴重な機会となりました。作業が始まると、冬の澄み渡る晴天



のもと、参加者一同、ただひたすらに奉仕に励みました。一つひとつの動作を通じて、己の心までもが磨かれていくような清々しさを感じ、奉仕の精神を肌で学ぶひとときとなりました。

令和十五年の「遷御」の儀に向け、微力ながらもその尊い営みの一端を担えたことは、神職としてこの上ない喜びです。天照大御神様の御神恩を間近に感じたこの経験を糧に、今後も日々研鑽を積んで参りたいと存じます。



忘年会・賛助会員交歓会

親睦部 副部長 日下部成信

令和七年十二月十日、レンブラントホテル海老名にて「賛助会員交歓会並びに忘年会」を開催致しました。当日は会員、当会賛助会員・顧問、並びに友好団体である神奈川縣神輿保存會の皆様にご臨席賜り、総勢五十四名参加の下、盛大に執り行われました。

令和七年は当会創立七十五周年の節

目を迎えた年であり、九月には記念大会も無事に終え、会員に於いては労いを込めた忘年会となりました。また、会員同士だけではなく、多くの諸先輩方との交流や貴重なお話も伺い、神奈川県神社庁石川正人庁長より「年末年始の忙しい時こそ息抜きも必要」とのお言葉を頂いた通り、限られた時間の中、世代を超えた懇親や絆を深め、有意義な時間を過ごすことが出来ました。

創立七十五周年記念大会も無事に終え、昨年は忙しいながらも会員がより一丸となって活動が出来た年であったと思います。あつという間の一年で、小泉会長期も折り返しを迎えました。七十五周年という節目を終えただけで



なく、本年は次の節目に向けてのスタートの年であることを自覚し、会員一同、より一層親睦を深め邁進していく次第です。



一月

新年会

親睦部 副部長 榎原 悠太

令和八年一月二十二日、北海道横浜天理ビル店にて新年会を開催致しました。当日は、繁忙期にも関わらず二十五名の会員が参加し、和やかに開催する事が出来ました。新年会では、各社の社務の状況や近況等の情報交換を行い、和気藹々とした雰囲気の中、会

員同士の親睦を深める事が出来ました。冒頭の小泉会長の挨拶では「本年は何事にも挑戦する年にしてほしい」と力強いお言葉を頂きました。

本年も全会員一丸となって、県内神界を盛り上げていく所存でございます。すので、当会OB又関わる多くの方々にはご声援、ご助力を賜りますようお願い申し上げます。



三月

顧問会・慰労送別会

親睦部 副部長 田村 拓之

令和八年三月二日、ホテル・ザ・ノックトヨコハマに於いて顧問会及び慰労送

別会を開催致しました。

顧問会では各部長より令和七年度の事業活動報告を行い、顧問の皆様からは当会が今後益々発展していく為の貴重なご意見をいただきました。

その後、退会される先輩方の送別、令和七年度の青年会活動の労いを兼ねて慰労送別会を行いました。令和七年度をもちまして、小菅康弘先輩、加藤

芳朗先輩が定年退会となり、古木普総先輩、吉田祥先輩、飯谷秀典先輩が顧問を定年退任となりました。ご臨席の叶わなかった先輩もおられました。ご出席いただいた先輩方の青年会活動など貴重なお話を聞くことができ、先輩方との有意義な時間を過ごしまし



た。会員同士もより一層親睦を深めることができ、今後の青年会活動に向けての団結力を高めることが出来たと思います。

結びに、令和七年度をもちまして退会・退任された諸先輩方の今後益々のご活躍とご多幸を心よりご祈念申し上げます。

【当日出席された退任顧問様より】



古木普総先輩「本日、四回目の挨拶となりますが、本当に有難うございました。ようやくこれで青年会も卒業となります。そろそろ潮時かと思っております。次からは賛助会員で資金援助したいと思います。有難うございました。」



吉田祥先輩「私が入った頃は楽しくやれました。青年会は楽しい会ですので、皆さん楽しんで活動してください。今日は有難うございました。」

祭式研修会

教養部 部長 湯田 敬介

令和八年三月五日、神奈川県神社庁にて会員十四名参加のもと、祭式研修会を開催致しました。

午前中は、神奈川県神社庁祭式講師

であり当会第二十三代会長でもある瀧尾剛良先生をお迎えし、基本作法についての講義を実施しました。

講義の初めに、神職としての身だしなみについて故事を交えながら説明いただき、作法の実践を行う前に心身ともに整えました。作法の研修の中では、先生のご指導のもと、参加者それぞれが一つ一つの動きを丁寧に確認しながら行い、普段どうしても雑になってしまっている部分を見つめ直す、有意義な時間となりました。

午後は、特定非営利活動法人小笠原流 小笠原教場の理事長である小笠原清基先生をお招きし、「小笠原家の礼法と婚礼式について」というテーマでご講義いただきました。



講義は、「小笠原家と人生儀礼について」「小笠原流の婚礼式」「小笠原礼法の実践」の三部構成となっていました。

中でも今回のメインテーマは「小笠原流の婚礼式」です。小笠原流の婚礼式は「陰の式」と「陽の式」に分かれて二度行うのですが、奉仕者は「陰の式」では左回り、「陽の式」では右回りの回転を用います。これは古事記の「天の御柱」の神話に由来しているそうです。また小笠原流婚礼式で使用する祭具類をお見せいただき、受講生にとってたいへん貴重な機会となりました。

源氏直系の家系である小笠原家により、武家の礼法として生まれ現在まで



継承されている小笠原流は神道との親和性も非常に高いと感じ、とても勉強になりました。

研修会終了後には、小笠原先生も交えて懇親会を開催し、参加者にとって貴重な交流の場となりました。

**山梨県神道青年会
創立七十五周年記念大会**
事務局 局長 坂路 禎己

令和八年三月六日、ベルクラシック甲府にて山梨県神道青年会創立七十五周年記念大会が開催されました。

県内外より百五十名にも及ぶ出席者のもと厳粛な雰囲気の中で行われた記念式典では、まず小佐野会長が、戦後の混乱期に本会を立ち上げ尊い伝統を



繋いでこられた歴代会長や先輩諸兄への深い敬意と感謝を述べ、山梨の名將武田信玄公の「人は城、人は石垣、人は堀」という教えから、組織を支えるのは「人の力」であり「人の和」であると説き、四十歳以下という限られた活動期間の中で同志と共に汗を流し、神社の未来を創っていく決意を示した上で、本周年を次なる百年へと続く新たな出発の日と位置づけました。

式典に引き続き行われた記念講演では「笑う門には福来たる」と題し、山梨県出身の落語家三遊亭小遊三先生をお迎えし、会場は終始温かい笑いに包まれ、斯界の未来を明るく照らすような貴重な御講演を頂きました。

その後の記念祝賀会では、夫婦太神楽「芸人ががみもち」による奉納演芸



が披露され、和やかな空気なか、それぞれが県の垣根を超えて交流し、絆を深めました。

さらに同会場で行われた二次会では「第七十五回FUJIYAMA A登頂競馬周年記念レース」と題し、全十地区の代表がペアとなり、山梨県産ブドウジュースを飲む「競走馬」と「騎手」に扮して競う山梨県神道青年会名物の余興が行われ、会場は最高潮を迎えました。



神青協一都七県協議会
東日本大震災慰霊祭並びに
早期復興祈願祭
会長 小泉 匡史

令和八年三月十一日、茨城県東茨城郡大洗町の大洗海岸において、神青協

一都七県協議会創立三十周年記念事業として「東日本大震災発災十五年物故者慰霊祭並びに早期復興祈願祭」を斎行いたしました。

当日は来賓をはじめ約七十名が参列するなか、震災発災時刻である午後二時四十六分、東日本大震災により尊い命を失われた御霊に対し参列者一同で黙祷を捧げ、続いて大祓詞を奏上し、御霊の安らかならんことと被災地の一日も早い復興を祈念申し上げました。

祭典においては、慰霊の誠を捧げ、災禍を乗り越え復興への願いを込めた舞「光舞」が奉奏され、参列者一同、静謐なる祈りのうちに心を一つにしました。

東日本大震災から十五年という歳月を経たいま、改めてあの日の出来事を



顧みるとき、この災禍を決して忘れてはならず、また決して風化させてはならないとの思いを新たにいたしました。同時に、今後いつ起こるかも知れぬ災害に備え、人々の命と暮らしを守



るための備えを一層強めていくことの大切さを改めて認識する機会ともなりました。
当会といたしましても、今後とも鎮魂と復興への祈りを捧げ続けるとともに、災害への備えの重要性を広く伝えながら、社会の安寧と人々の平安を祈念してまいります。

外貨寄付事業

渉外部 副部長 新倉佳奈恵

近年、日本を訪れる外国人観光客が増加しており、神社でも様々な国籍の参拝者が見受けられるようになりました。授与所に英語での案内を用意する等の対応が行われているところも多いのではないのでしょうか。

外国人観光客の増加に伴い、お賽銭に含まれる外国通貨の割合も増すようになってまいりました。誠にありがたいことである一方、その取り扱いにつ



いては対応に苦慮される場面もあるか
と思います。

このような状況を踏まえ、当会では
令和五年度より県内神社の外貨を集め
日本ユニセフ協会に寄付する事業を継
続して行っており、本年も県内三十八
社の神社より総重量九十六・一kgの外
貨をお寄せいただき、寄付いたしました。

ご協力いただいた県内神社の皆様にお
かれましては、外貨の取りまとめ並
びに支部担当者へのお持ち込みや、支
部会合等へのご持参など、多大なるご
理解とご協力を賜りましたこと、心よ
り御礼申し上げます。

皆様からお寄せいただいた外貨が、
日本ユニセフ協会を通して有意義に活
用され社会福祉活動の一端を担うこと



で、ご協力いただいた皆様にもお喜び
いただけるものと存じます。

【ご協力いただいた神社様】

計三十八社 総重量九十六・一kg

川崎支部

・日枝神社

・八幡大神

・稲毛神社

横浜北支部

・杉山神社

・篠原八幡大神

横浜中支部

・杉山神社(戸部)

・杉山神社(星川)

・杉山社

横浜南支部

・金刀比羅神社

・富岡八幡宮

鎌倉横須賀三浦連合支部

・海南神社

・諏訪大神社

・熊野社

・稲荷神社

相模中央支部

・八幡神社

相模湘南支部

・寒川神社

相模中連合支部

・六所神社

・伊勢原大神宮

・平塚八幡宮

・日枝大神社

・琴平神社

・師岡熊野神社

・橘樹神社

・杉山神社(宮本町)

・杉山神社(南太田)

・森戸大明神

・叶神社

・諏訪神社

・龍藏神社

・曾屋神社

・三ノ宮比々多神社

・白笹稲荷神社

足柄小田原支部

・松原神社

・素鷲神社

・箱根神社

・鶴岡八幡宮

・白髭神社

・報徳二宮神社

神道青年全国協議会
令和七年度中央研修会
事務局 局長 坂路 禎己

令和八年三月二十四日、二十五日の
二日間にかけて令和七年度神道青年全
国協議会中央研修会が奈良県のホテル
日航奈良で開催されました。「稽古照
今―奈良に倣ひ、未来を切り拓く―」
と題し全国から三百名が参加し、当会
からも七名の会員が参加致しました。

第一講では能楽師で人間国宝の大倉
源次郎先生が「稽古―稽古に基づく日
本文化の伝承―」というテーマで、講
演を賜り、伝統を守り継承するには変
化を恐れず、チャレンジすることが大



切なことであるというご自身の経験か
ら得たご講演を拝聴致しました。

第二講では「和の原点を手で感じる
―三宝づくりが紡ぐ祈りと暮らし―」
と題し吉谷木工所副代表の吉谷侑輝先
生のご指導の基、三宝づくり体験を致
しました。普段、我々が扱う三宝の作
り方を通じて、込められた意味など三
宝づくりをする職人さんの現状をお聞
きし、手を使いながら学べる有意義な
時間となりました。

第三講では俳優の加藤雅也先生、書
家・妖怪書家の逢香先生の対談形式の
講演で「古を映して今を生きる―奈良
を巡り感じたこと―」と題しご講演い
ただきました。奈良は始まりの地、こ
の国の文化の原点が詰まっているとこ
ろ、知れば知るほど奥が深く、古より

文化の原点として今もなお色濃く生き
ている場所であり、そこに暮らす人々
も温厚であることなど地域に特化した
ご講演を賜りました。

又、二日目の第四講では「日本の背
骨」と題し薬師寺長老・善光寺住職の
山田法胤先生ご自身の体験、薬師寺の
再興を支えたエピソードなどのお話を
伺うことが出来ました。先生は八十大
の高齢にも関わらず、一時間半の講演
の間、一回も座らず立ったままでお話
をされているお姿に、大変パワフルな
印象を受けました。

この二日間の研修での多くの学び
や、懇親会での全国の同志である会員
との交流は非常に良い刺激となり、自
身の成長を確信出来る貴重な体験とな
りました。

今回の主題、古事記の序文でみられ
る「稽古照今」の精神を胸に刻み、古
の伝統を知り、今に照らすことを日々
の活動で活かして参りたいと存じま
す。

神青協 一都七県協議会
研修旅行会

渉外部 部長 宮本公太郎

令和八年三月二十五・二十六日、神
青協一都七県協議会研修旅行会に小泉
会長以下四名で参加致しました。



当研修旅行会は奈良県で開催され、
二十五日には吉野神宮正式参拝の後に
金峯山寺を拝観、二十六日には檀原神
宮を正式参拝の後に法隆寺を拝観致し
ました。

一都七県協議会の仲間たちと共に研
鑽を積み、交流を深めることができま
した。当会においても個人としても貴
重な経験となりました。

四月

能登半島地震復興支援清掃奉仕

相談役 志村 幸弥

令和八年四月七日、神青協主催によ
る能登半島地震復興支援清掃奉仕に
神奈川より三名にて参加致しました。

全国より六十名を超える同志が集ま
り、八班に分かれ被災神社の奉仕へ向
かいました。私達を含む関東地区の参
加者は珠洲市の高倉彦神社へ移動し、
境内の清掃奉仕を致しました。

道路等の復旧は進んでいるように見
受けられましたが、震災の爪痕はまだ
まだ深く残っており、今後も継続的な
支援の必要性を感じました。微力なが
ら今回の活動が復興の一助となれば幸
いです。被災地の一日も早い復興を願
いつつ、心を寄せ続けて参ります。



神道青年全国協議会
第七十七回定例総会

事務局 局長 坂路 禎己

令和八年四月二十三日、神道青年全
国協議会第七十七回定例総会が神社本
庁にて開催されました。

総会では、北方会長及びご来賓のご
挨拶の後に定例表彰式を執り行い、続
いて議案が審議され原案通り承認され
ました。その後、会場を東郷会館に移
し「菊波の友垣会」が開催され、全国
各單位会同志の仲間と懇親を深めるこ
とが出来ました。



また、本総会の定例表彰式では当会
の「神奈川県神道青年会ホームページ

リニューアル」事業が、優秀広報賞を受賞致しました。選考理由として、現代の情報環境に即した発信基盤の整備、とりわけ県内慰霊碑・忠魂碑に関する情報を 구글マイマップにて分かり易く掲載した点などが高い評価を得られました。川辺会長期、守屋会長期、志村会長期、そして今期の小泉会長期を含め長きに亘る本事業がこのような評価を得られたことは、感慨深いものがあります。今後この受賞を励みに、また新たな事業にも挑戦してまいる所存です。

令和八年度定例総会・懇親会
事務局 局員 片岡 昂也

令和八年四月二十四日、稲毛神社に於きまして神奈川県神道青年会令和八年度定例総会が開催されました。

会員三十三名が出席、四十名の委任状により無事に執り行われました。

冒頭、小泉会長より「会員の皆様が当会事業に出席くださることは当たり前のもので無く、お一人おひとりが貴重な時間を割き、青年会のためにご尽力戴いていることに、心より感謝と喜びを感じております。」と会員への敬意と謝意が込められた挨拶がありました。

ご来賓として、本総会の会場使用を



ご快諾戴き、社務ご多忙の中、ご臨席賜りました稲毛神社宮司市川和裕様より「何事も楽しんで取り組むことが重要であり、楽しんでいられるからこそ常にそのこと考え、より良いアイデアが生まれます。やらされているという意識ではなく、主体的に楽しむ姿勢を忘れず、今後も斯界の活性化にご尽力戴きたい。」とご祝辞を賜りました。

議事へと進み、議長は牧野総務局員が選任され、令和八年度の活動方針、活動計画や予算案が慎重審議を経て承認され、本総会は滞りなく閉会となりました。

閉会後は会場を煌蘭川崎店へと移し、賛助会員・顧問の先輩方のご出席を賜り懇親会を開催いたしました。

終始笑顔とお酒の絶えない時間となり、名残惜しい思いがありつつ諸先輩方、各会員との親睦の時間となりました。



以上のほか、十月三十一日「北方領土返還要求運動神奈川県大会」、十二月四日「かながわ元氣フォーラム二〇二五」、四月二日「一七協ゴルフ大会」にも当会会員が参加いたしました。

関係各位に御礼申し上げます。

この国の佳き伝統とともに

株式会社 宮本卯之助商店

創業文久元年 太鼓・神輿・祭礼具 製造販売

〒111-0035 東京都台東区西浅草2-1-1
tel. 03-3844-2141 fax. 03-3842-6730

www.miyamoto-unosuke.co.jp

木材の大敵、「水じみ」「木材腐朽菌」除去!

エア一鉋

無公害性防火難燃剤
ファイヤーレターデント防燃水

【薬剤効果】・防火難燃性能・防腐効果・防蟻効果
● 多くの神社仏閣・公共施設に採用! ● 1,300℃でも引火しない! ● 無色透明人体・建物に無害!

コクド環境株式会社 〒340-0015 埼玉県草加市高野2-11-9
草加事務所 ワンパール草加603号
TEL:048-918-2057 / FAX:048-945-5902

創業百有余年
 — 伝統の技術を活かした授与品作り —
 神奈川県神社庁をはじめ
 全国各神社でご利用頂いております。

神符・守札・木札・金欄御守・御朱印帳
 交通安全守・彫り木守・守護矢・ステッカー
 シール型守・縁起物・切り絵御朱印

株式会社 丸井紙店

TEL 055-272-0136 FAX 055-272-3966

〒409-3601 山梨県西八代郡市川三郷町市川大門763 <https://juyohin.co.jp/>




神奈川 授与品 記念品 奉製

株式会社 神路社

本社
 〒516-0037 三重県伊勢市岩間2丁目5番29号(私道第26号)
 電話番号 0596-24-5858 / FAX 0596-24-5110
 E-mail info@kamijisya.co.jp
 I P 電話 050-3536-5273

神 苑 (東日本営業所)
 〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南2丁目23番7号
 エビスパークビルズ 201号室
 電話番号 03-3280-6720 / FAX 03-3280-6721
 E-mail info-tokyo@kamijisya.co.jp
 I P 電話 050-3539-3432
<http://www.kamijisya.co.jp>

御装束・御簾・神典
 神祭具調度

宮内庁御用達・京都百年老舗

竹重
 有限会社

〒600-8324
 京都市下京区西洞院花屋町上る東側町510
 ☎075-371-0394 FAX075-341-6966
 フリーダイヤル 0120-37-0394





トライアル受付中

ご祈禱予約システム

Smart **から**

ミツイワ株式会社

〒150-0002 東京都品川区北品川5丁目1番18号
 TEL : 03-3407-2260 Mail : sales-info@mitsuiwa.co.jp

祈禱予約
 ネットにしたたら
 すごい増えた



内宮に一番近い宿

早朝参拝のご案内をしております

ゆとりとやすらぎの宿

神宮会館
 伊勢神宮崇敬会

— ご宿泊に関するお問い合わせ —
 〒516-0025 伊勢市宇治中ノ切町152
 TEL 0596-22-0001 / FAX 0596-22-1517

Instagram 好評配信中!



PLAYING CARDS

KOWA
 KOWA DISPLAY CO., INC.

大切なイメージをカタチにします。
オリジナル授与品・記念品

株式会社 晃和ディスプレイ

東京都目黒区目黒本町3-13-10 〒152-0002
 TEL : 03-3792-0211 FAX : 03-3792-0925
 ホームページ <http://www.kowa-dsp.co.jp/>



祈る心によりそう御守づくり
 京の伝統に真心を込めて

環境にやさしい授与品づくりをめざしています

京都奉製株式会社

☎ 0120-164124 (イロヨイニシキ)

京都本社 / 東京営業所 / 仙台営業所 /
 福岡営業所 / 東海営業所 / 広島営業所

ホームページQRコード




繊細な技術と日本の伝統を今に継ぐ
 授与品の奉製

古都 奈良の

株式会社 大和奉神堂

〒630-8434 奈良市山町782番地
 TEL 0742-62-3235(代)
 FAX 0742-62-3228
 E-mail : hoshindo782@yahoo.co.jp
 HomePage : <http://www.yamato-hoshindo.net/>

令和7年度後期活動報告

10月

- 11 青少年育成事業 稲作体験事業 稲刈り
(伊勢原市 御神田)
- 16 神青協一都七県協議会 第3回定例会議
(本社本庁)
- 20 時局研修会 靖國神社正式参拝並びに研
修会(靖國神社)
- 20 会報「神奈川」第80号発行
- 21 第6回拡大役員会(稲毛神社)
- 26 秋の親睦事業『温泉慰労懇親会』
(小田原・万葉の湯)
- 27 神道青年全国協議会 第7回役員会
(大濱信泉記念館)
- 28 神道青年全国協議会波照間の碑・聖寿奉
祝の碑視察・清掃奉仕※当日船欠航の為、
渡島中止(沖縄県・石垣島)
- 31 北方領土返還要求運動 神奈川県民会議
(情文センター)

11月

- 14 献米発送(箱根神社)
- 17 神道青年全国協議会 第8回役員会
(明治記念館)
- 17 神道青年全国協議会 顧問会
(明治記念館)
- 18 神青協一都七県協議会 懇親フットサル
大会(代々木フットサルコート)
- 19 雅楽講習会(入門編)(神社庁)
- 21 第7回拡大役員会(寒川神社)
- 24 神青協一都七県協議会記念誌編集委員
会・事務局会(オンライン)
- 25 神奈川県仏教青年会 創立五十周年記念
大会(横浜ベイホテル東急)

12月

- 2 神道青年全国協議会 神宮御敷地清掃
(神宮)
- 4 かながわ元気フォーラム(ローズホテル)

- 5 神青協一都七県協議会 第4回定例会
議・研修会(靖國神社)
- 10 令和7年度賛助会員交歓会並びに忘年会
(レンブラントホテル海老名)

1月

- 22 新年会(横浜駅 北海道)
- 26 神青協一都七県協議会 記念事業実行委
員会・事務局会(オンライン)

2月

- 4 第8回拡大役員会(オンライン)
- 9 神青協一都七県協議会 第5回定例会議
(日本文化興隆財団)
- 15 神奈川縣神輿保存會 新年会
(横浜ベイホテル東急)
- 19 神道青年全国協議会 第10回役員会
(本社本庁)
- 21 神道青年全国協議会ウェブ研修会
(オンライン)
- 26 神道青年全国協議会波照間の碑・聖寿奉
祝の碑視察並びに清掃奉仕(波照間島)
- 27 正副会長局長会(鹿島大神)

3月

- 2 顧問会(ホテルザノットヨコハマ)
- 2 慰労送別会(ホテルザノットヨコハマ)
- 5 祭式研修会(神社庁)
- 6 山梨県神道青年会創立75周年記念大会
(ベルクラシック甲府)
- 11 神青協一都七県協議会 東日本大震災慰
霊祭並びに早期復興祈願祭(茨城県大洗
海岸)
- 18 第9回拡大役員会(オンライン)
- 19 外貨寄付事業(ユニセフハウス)
- 24~25 神道青年全国協議会 令和7年度中央
研修会(奈良県)
- 25~26 神青協一都七県協議会 研修旅行会
(奈良県)

◆1種10枚1組
◆縦14.5×横10cm

◆民俗工芸オリジナル

美しい四季が描かれた
書置き御朱印です。
ご社名、日付を記入して
お使いください。

住吉神社 奉拝

株式会社 民俗工芸 〒857-1162 長崎県佐世保市御本町18-1
TEL0956-34-5500 FAX0956-34-5511

代表取締役
可児 錠二

トモ工陶業株式会社
株式会社 可児商店

愛知県瀬戸市北浦町三丁目36番地 〒489-0915
☎TEL0561-83-3674(代) ☎FAX0561-82-4261
E-mail:kani-co@mtf.biglobe.ne.jp
http://www.tomoetogyo.jp

慶弔報告

◇結婚

宮本公太郎 伊勢原大神宮 禰宜
令和八年三月三日

入会・退会会員

◇入会

伊勢山皇大神宮 権禰宜 植栗 曹之
寒川神社 権禰宜 足立 良介
大稲荷神社 権禰宜 穂山 佳昌
神奈川県神社庁 雇 伊與田雅也

◇退会

伊勢山皇大神宮 権禰宜 小菅 康弘
寒川神社 権禰宜 加藤 芳朗
箱根神社 権禰宜 田中 慶佑
神鳥前川神社 権禰宜 安達 都

退任顧問

鈴鹿明神社 宮 司 古木 普総
住吉神社 権禰宜 吉田 祥
龍藏神社 宮 司 飯谷 秀典

編集後記

この度は会報八十一号発行に際しご多忙の中ご尽力頂きました皆様、またご協賛ならびにご支援を賜りました皆様に、まずは心より御礼を申し上げます。

さて、これを書いている頃は二月の中頃でした。各地で見られた積雪は、日常の流れに一時的な変化を与えてくれたように感じます。道端では珍しく、小さなつららが軒先にできている光景も見られ、例年とは異なる冬の厳しさと同時に、季節の移ろいを静かに実感する出来事となりました。

立ち止まって物事を見つめ直す、そんな契機となったように感じます。忙しさの中では見過ごしてしまいがちな風景や出来事も、こうしたいいつもと違う何かをきっかけに振り返ってみると、日々の積み重ねそのものが支えとなっていることに気づかされます。そんな「当たり前」を一つ一つ確認し形にしていく、そしてそれを忘れないよう記録していく。あの日の雪景色はそんな事を意識するきっかけを与えてくれたように思います。

日々の変化を受け止め、時には立ち止まって整理し、次へとつなげて残していく姿勢の重要性を改めて認識させられました。皆様にとってもこの会報を読む事が振り返るための一助となり、今後につなげていく上での一つの指標となりましたら幸いです。

広報部 副部長 前田 直樹

社殿造営・神棚神具製造

有根 依田屋

ひよつたや

代表取締役 田中弘紀



〒516-0026
伊勢市宇治浦田丁目〇ノ三八
電話 〇五九六 三三 三九〇五
FAX 〇五九六 三三 三九〇八

各種御守・授与品全般・デザイン制作承ります。

にしき
有限会社 西紀

TEL: 072-810-8133
FAX: 0120-71-8135
FAX 24時間受付

〒576-0034 大阪府交野市天野が原町 4-1-7
メール: mytom@chive.ocn.ne.jp

奉じる心を大切に 全国社寺 授与品 総合奉産 調度品

京都・吉祥院
東和奉産株式会社

代表取締役 松尾正貴

本社・工場 〒601-8348 京都市南区吉祥院観音堂町七



電話代表 (075) 691-3000
FAX (075) 691-3300
E-mail info@towahosan.jp

営業品目

縁起物入みくじ・金属製守・木札守・紙札守
金欄錦守・各種熊手・守護矢・朱印帳

おもりの奉製

株式会社 阿部

〒323-1104 栃木県栃木市藤岡町藤岡5203-1
TEL (0282) 62-1010 (代表)
FAX (0282) 62-2061

ゴルフ同好会



ゴルフ同好会では不定期ですがゴルフコンペを企画し、開催しております。

今年、四月二日に栃木県宇都宮にあるサンヒルズカントリークラブにて開催された第十六回神青協一都七県協議会親睦ゴルフ大会に、他県との懇親を深めるべく当県より二名参加して参りました。

また今後の予定として、五月十二日に静岡県駿東郡にある三甲ゴルフ倶楽部富士コースにてゴルフ大会を企画しております。

ゴルフ同好会では、初心者の方にも楽しんでいただけるようゴルフ練習場での練習を企画し、会員同士の親睦を深める一助となるよう活動して参ります。

フットサル同好会



月に1〜2回程度、横浜市近辺の体育館やフットサル場を中心に活動しています。

小泉匡史選手兼監督による本格的な戦術練習をはじめ、未経験者向けの基礎練習、運動不足の方向けのフィットネス感覚のボールを使わないトレーニングなど、多彩なメニューをご用意しております。

お子様も一緒に楽しめるバラエティ豊かなプログラムですので、ご家族でのご参加も大歓迎です。

また、当会は毎年秋に開催される「一都七県親睦フットサル大会」で優勝経験もあり、フットサルを通じて神奈川県内だけでなく他県との交流も行っています。

ます。

【事務局】 日枝神社 山本喜道

☎〇四四一四二一三二七

野球同好会



運動を通じて、多くの仲間との親睦を深められる環境ですので、ぜひお気軽にご参加ください。

【事務局】 八幡大神 小泉匡史

☎〇八〇一九五七九一七七四〇

野球同好会は月に二回ほど、横浜及び川崎の球場を借りて練習を行なっています。

毎年秋に開催される一都七県神職野球大会に向けての練習ですが、会員の中には野球未経験者も多く、試合に勝つだけでなく親睦を深める事も目標に、明るく楽しく日々練習に励んでいます。同好会は年齢制限を設けておらず、そのためOBが多いものの、練習では世代を超えて和気藹々と交流を深め、分らないことがあれば親身に教

えていただけるので、安心して参加できます。

また、嬉しいことに、神奈川県は昨年大会に優勝し二連覇を成し遂げました！練習もそうですが、やはり神奈川県らしい「明るく元気に楽しく」をモットーに、そして世代を超えた絆が深いからこそ連覇を成し遂げられたと思います。今年も三連覇へむけて日々邁進していく次第でございます。

当同好会は会員を随時募集しております。野球をやったことがない、連覇がかかっているので私なんかか...と思われるかもしれませんが心配はご無用です！野球未経験者でも参加すれば必ず楽しいと感じられる会を目指しております。まずは野球というスポーツに触れてみて楽しむことから始めましょう。少しでも興味のある方は会員、事務局へご連絡ください。みなさまのご参加を心よりお待ちしております。

（日下部成信）
【事務局】 神明社 石原誠人
（神道青年会顧問）

☎〇四五一三四一六三六五

